

日本大学三島高等学校
同窓会会報

第 22 号

平成 5 年 3 月 1 日
静岡県三島市文教町 2
日大三島高校同窓会 発行



御挨拶

会長 高田 菊平

会員の皆様方におかれましては、お変わりなく御活躍のこととお慶び申し上げます。おかげ様で、同窓会も大過なく歩み続けておりますこと、大変ありがたく御協力に厚く感謝申し上げます。

平成 4 年は、皆様御承知の通り、政治に、経済にと、激動の一年でありました。とりわけ経済環境は、平成 4 年年初からのバブル崩壊に始まって、主要産業がのきなみ不況に陥り、大きな社会不安を引き起こして現在に至っております。皆様の環境においてもこれらをひしひしと感じられた一年であったことと思います。

さて今年平成 5 年を見ましても、いまだにその景気の天気予報は、晴れ間の見えない一年になるだろうと予想されておりますが、たとえ回復しても、前のように消費拡大の経済になることは考えられなくなりました。今、世界の中で日本がこの不況をどうのりこえ、成長発展していくかは、大きな世界的関心事でありその成果がそのまま世界経済の動向に大きく影響を与えてしまうほどに、日本の経済力はなっていました。

しかし、今後日本が今までのように殻に閉じこもった思考で事に対処しようとすれば、それは将来にわたって

現状打破が出来なくなってしまうのではないのでしょうか。いずれにしても強いリーダーの指導力が要求されるころと思います。

会員の皆様方におかれまして、今年の動向については大変に心掛けておられることと思いますが、社会、経済の流れを肌で感じとり、又、先をみつめて対応策を立てておられることと思います。一層の御奮闘を期待しております。

さて、皆様も御承知の通り機会あるごとにいろいろな分野で、新聞、テレビ、ラジオ等から母校の活躍ぶりをごらんになられておることと思いますが、大変喜ばしいことでもあります。これから年々生徒数が減少していく環境にあります現在、母校がどのように対応していくのか、同窓会としても見守っていかなくてはならないことと思います。母校の発展こそ、同窓会の発展に欠かすことの出来ない条件であり、同窓会としてもそれ故に母校に対する応援をおしまないものであります。会員相互のコミュニケーションを通じて、ますます同窓会活動の活性化をはかっていかなくてはならない使命が私共にあります。会員の皆様方の御支援と御尽力を切にお願い申し上げます。御挨拶といたします。

(平成 5 年 1 月 13 日)

第 1 期生・ニューデルタ工業株式会社社長

(三島市梅名)

**桜の
母校**



ご挨拶



校長 薬袋 邦明

同窓会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃本校の教育につきまして、格段のご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

本年卒業する33期生は1,104名です。同窓生は36,000余名の大勢力になります。この同窓が、様々な領域でご活躍されている事は本当に心強い限りです。1,100名を越す卒業生を送り出すのは、この33期生が最後になると思います。ご承知の通り高校就学人口の急減期に入り、本校も県下の各公私立高校との調整を計りつつ、平成3年から毎年入学募集定員を減らす計画に入っております。私共はこの生徒減少期こそ教育充実の好機、教育条件の整備のチャンスとすべく教職員一体となって努力しております。

いま学校教育は大きく変わろうとしています。21世紀への夢と希望をはぐくみ、創造的に生きる力を育てる教育と、社会の変化に主体的に対応できる個性を生かす教育への実現が求められています。これからの急激に変化し進展する時代においては、自らの判断と責任で行動することができる人間が必要です。それには生徒一人ひとりの個性を大切に、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力や思考力・判断力・表現力などの育成を図らなければなりません。

こうした幅広い対応が期待される新しい教育観を学校・家庭・社会にどう生かしていくかが、21世紀を目前にした移行期の教育界に投げかけられている問題です。この期待にこたえるべく教職員一体となって、発想を転換し、教育創造への取り組みを実践しなければならないと思っています。

同窓生の皆様におかれましても、生涯学習社会の推進力となられるよう、ご活躍とご健康を祈念してご挨拶いたします。
(平成5年1月30日)

新入会員を迎える

歓迎の言葉



自らが主役の人生を

第7期生

江川 洋

第33期生の皆さん、卒業おめでとう。ひと口に卒業と申しましても、日大三島高校で学んだ3年の間には、様々な苦難があったことだろうと思います。私は、その苦難をのりこえられた努力に対しておめでとうと申し上げたのです。みじかくもながきこの人生において、まわりの人たちから、はたしてどれほどおめでとうと言われることがあるのでしょうか。結論から申しますと、私は皆さんに対し、おめでとうと、たくさん言われる人生をおくってほしいと願うものです。理想は未来に存在するものではなく、自らのたゆまぬ努力によってつくられるものです。そしてその結果としておめでとうと言われるのです。ですから、今ここに日大三島高校を卒業するにあたり、それぞれの立場で喜びを見つけてほしいと思うのです。もしも自分の足跡の中に喜びを見出すことのできない人があるとすれば、その人は瞬時の努力を忘れた人です。今から自己の未来へ向かって歩み

はじめてください。

いよいよ日大三島高校を「母校」と呼ぶ時がきました。そして同窓会は、皆さんを心から迎えるものです。卒業後の何年かは、自分のために大変忙しい時間をおくることだろうと思います。そうしてやがては自分の城を持つようになってゆくでしょう。同窓会は、そうしたそれぞれの過程を見守りながら応援します。それぞれの地域の中で、先輩をたずねるようにしてください。そしてまた、言うまでもなく、級友との「きずな」を一番の基本として生きてゆくことを願います。決して忘れないでください。自分から求める努力をしなければ、どんな立派な学校や会社であろうとも何の役にも立ちません。自らが主役とならなければ、理想はつくられないのです。同窓会は心から皆さんを応援します。頑張ってください。



クラス幹事

- | | |
|----------|-----------|
| 1組 飯田幸志 | 15組 村田優子 |
| 2組 田中謙太郎 | 16組 真田美樹 |
| 3組 立林紀雄 | 17組 矢田部佳子 |
| 4組 望月義文 | 18組 成川るみ |
| 5組 大嶽龍一 | 19組 筑木由美子 |
| 6組 加藤文靖 | 20組 鈴木千恵 |
| 7組 胡桃沢昌広 | 21組 遠藤美穂 |
| 8組 塩川正朗 | 22組 新井陽子 |
| 9組 遠藤太嘉志 | 23組 吉田由香 |
| 10組 佐藤正己 | |
| 11組 中林泰彦 | |
| 12組 大庭康嗣 | |
| 13組 佐野吉隆 | |
| 14組 渡辺智 | |



以上の方々がクラス幹事と決まりました。日大三島高校における「クラス仲間」をいつまでも大切に、これからの人生を歩んでほしいと願っています。

各支部長一覽

支部名	氏名	住所	TEL
三島	久保田光	駿東郡清水町柿田九	〇五五九七一一九二二
田方	山田守宏	田方郡大仁町立花三二二三二	〇五五八七六一五〇〇二
沼津	今井信之	沼津市市場町一〇一一	〇五五九三一一七八七八
御殿場	武藤康徳	御殿場市新橋一九六七	〇五五〇八二一一二四八
裾野	勝又国佳	裾野市深良一五五一	〇五五九七七一三九九二
富士	西村雅幸	富士市横割六一二二二五	〇五四五六一一五一七五
富士宮	秋山一雅	富士宮市浅間町四一五	〇五四四二六一三八四八
清水	久保田容弘	庵原郡富士川町岩淵七八一三	〇五四二八一一〇八八八
静岡	松下悟	島田市横井四一一一三三	〇五四二四五一八三一五
熱海	米倉久高	熱海市清水町九一一二	〇五五七八一三〇九三
小田原	川口功一	小田原市東町四一五一二〇	〇四六五三四一三五三七

入会にあたり

33期生代表

長田光広



私達、平成4年度卒業生は、3年間の教育課程を全て終了し、日大三島高校での3年間の教を胸に、第33期生として同窓会に入会させていただくことになりました。

日大三島高校は、来年で35周年になるそうです。その長い歴史の中に、とても想像もつかない大勢の先輩がいると思うと、あらためて本校の伝統の深さを感じます。その中には有名になられたり、そしてまた立派に会社の中枢として、大成されている方も多いと思います。

現在、私達がこうして卒業を眼前にしたこの短い期間にも、皇太子様のご婚約、中東地域の紛争、カンボジアにおけるPKO活動に従事している自衛隊の活躍など、

世界が変動しています。だからこそ、一人一人の責任の深さが重大になってきます。他人の意見に惑わされるのではなく、何に対しても探究心を持続させ、自分の主義主張をもつことが大切だと思います。それには日大三島高校で培った、ド根性精神と、何に対しても全力投球する情熱をもって、日々の努力を欠くことなく頑張っていくことが必要だと思います。

今、私達はそれぞれの道を歩もうとしています。社会に出て、世間の荒波にもまれ、悩み、大きな壁にぶつかるかもしれません。そんな時こそ青春時代の思い出がきっかけとなり、次のステップへとつながったとしたら、それは大変に素晴らしいことです。

日大三島高校で学んだ色々なことを心の糧とし、その場その場で最善をつくり、日大三島高校の卒業生として恥じぬよう、先輩方のご指導と、ご支援のほどをよろしくお願いいたします。



母 校 だ よ り



桜の下の新入生

平成4年度

桜 陵 祭

テーマ

「^{ひら}拓け未来!! ^{とき}刻め青春の瞬間」



日 大 体 操



ニュージーランドからのお客様

- ・イングルウッドハイスクール
- ・ボーイズハイスクール



壮 行 会 一 夏 一



朝の活気!!



学校を美しく

文化講演会

平成4年3月

国語学者

金田一春彦先生



プロサッカープレイヤー
奥寺康彦氏



富士に守られトレーニング

佐々木隆幸先生退職される



本校に赴任した頃の思い出

佐々木 隆 幸

三島に初めて足を踏み入れたのは昭和35年3月でした。この月から開校3年目を迎える日大三島高校に勤務することとなり、事務上の手伝いをしながら、4月から高校教員として3年文系2学級の物理および副担任、2年理系の物理を受け持つこととなり生徒諸君との付き合いが始まりました。以来昨年まで30余年間を過ごさせて頂きましたが、その頃の私が感じた生徒諸君あるいは私自身の一部を話させていただきます。まず第一は日大三島なる集団はどんな性格をもつ集団なのかという興味と、第二には過去に私の知った私立の生徒諸君、私が出た高校の仲間とどう違うのかな、もしこうならば、こういう指導をしてやれと本当に生意気な考え方をしていました。ところが全く違って私が出た高校のようなバンカラ風もなく、制服、制帽、しかも皮靴。高下駄を履いて創立記念日、体育祭の夜に蛮声を躍り上げて街中をおど躍り回っていた私たちに比べて大きな驚きでした。その頃ある先生が日大三島の生徒は豆神士であり、レディの集まりであると評されたのは“むべなるかな”でありました。このような生徒諸君に比べますと、私の方はいろいろと生意気な行動で生徒諸君にも大分反感を持たれた

りしたようですが、先輩諸先生方の御指導のお陰で兎にも角にも一年間を楽しく過ごさせて頂きました。あの頃はいろいろなことがありました。当時雪がよく降りました。出校して来た生徒諸君と授業はそっちのけで物理はまず肌で感じそれから頭で考えろノと理屈をつけて物が当たった時の抵抗感がわかったかと野外実習ならぬ雪合戦。春は春で、今日は気温差と空気の移動、それに対する物体の反応と称してお花見等々。まともな授業にはほど遠かったようです。またあの頃は北中との境は小さな桜の木、校舎も一部を除いては大学、高校共に元兵舎の木造。ただ銀杏並木だけは今と変わりなく富士山が映えて美しい眺めでした。思い出はつきませんが、三島大社から鎧坂そして学校への道すがら、途中一緒になる生徒さんと歩道、車道を降りたり上がったりしながらいろいろなことを話題にしたり、蝮も出るぞと驚かしながらグラウンドの小石を拾い、草むしりを生徒諸君とやったことなども楽しかったことの思い出です。あれから30余年、考えれば考える程、感深いものがあります。あの頃の私、そして現在の私を考えながら本当に幸せな教員生活を送らせて頂いたことを感謝し、皆様方が今後とも幸せでありますよう祈りつつ筆を置きます。

平成5年2月6日

平成4年11月24日付をもって、佐々木隆幸先生が退職されました。先生は昭和35年4月1日に母校に赴任されました。先生の新しい人生に幸多いことを、同窓生一同心よりお祈り申し上げます。

第6期 女子同窓会をひらいて

代表 山田 浩子

昭和41年の春に卒業して以来、28年の歳月が流れてしまいました。子育ても一段落して気がついてみたら「おばさん」と言われる年齢になっていました。この年頃になると昔の友達が懐かしくなってくるようです。周りの友人から何度となく同窓会を開いてくれるように頼まれ、重い腰をようやく持ち上げ6人の幹事らしきものを作り、何度となく食事をしたり飲んだり、幹事会というよりミニ同窓会を開きながら第一回目を開くことができたのが28年目の春でした。平成3年5月26日に三島駅前の田代グリルでおばさんたちが集まりました。それでも、会ってしまったとたんに何なく28年前にさかのぼり、15歳の少女に戻り、話に花が咲き、とどまる所を知らませんでした。これを機会にと名簿も作り、皆が連絡して、また昔の付き合いができるようにと頑張りました。皆に感謝

され、おだてられながら昨年の秋（10月25日）には恩師も招いて、同級生の経営する和食処で2度目の同窓会も開く事ができました。これからも、おばさんが「ばばあ」になるまで、温泉にでも入りながら同窓会を続けたいと願っています。

平成5年1月



恩師を囲んで

平成4年10月25日

部活動だより

文化部

<放送部>

- 第39回NHK杯全国高等学校放送コンテスト
 - ・テレビ番組自由部門「オタク道」 県1位
 - ・テレビ番組課題部門「僕等の解放区」 全国4位
 - ・研究発表部門「音質の更なる向上を目指して」
最優秀賞（文部大臣賞）
 - ・ラジオ番組課題部門「それ行け！高校生」全国5位
 - ・朗読部門 県1位・全国4位 熊谷絵里香（2年）
- '92全日本ビデオコンテスト
 - ・テレビ番組部門「お母さんなんて……」
奨励賞（全国4位）
- 第16回全国高等学校総合文化祭・放送文化朗読部門
全国奨励賞（上位5人）

<美術部>

- 第26回全国高校生ポスター・絵画写真映像コンクール
 - ・絵画部門 学校協力賞（全国1位）
 - ・絵画部門 金賞（全国1位） 芹沢琴美（1年）
- 第12回全国高校生美術作品コンクール
銅賞（全国3位） 足立晃栄（3年）
- 平成4年度山火事予防ポスター原画コンクール
 - ・ポスター部門 林野弘済会会長賞（全国6位）
遠藤里都美（2年）
- 第9回全国高校生イラストコンクール
 - ・イラスト部門 主催者特別賞（全国4位）
遠藤里都美（2年）
- 第1回全国高等学校漫画選手権大会 全国8位

<写真部>

- 第16回全国高等学校総合文化祭
 - ・県1位・全国奨励賞 森島吉直（3年）
- 第83回ニコトップアイフォトコンテスト
 - ・トップアイ賞（全国1位） 森島吉直（3年）

全国選抜高等学校選手権大会

テニス部・男子・女子

— 男子は5年連続5回目 —
— 女子は7年連続8回目 —

期日・平成5年3月22日～25日

場所・北九州プリンスホテルテニスセンター

運動部

<山岳部>

- 東海高校総合体育大会 優勝
- 国民体育大会県大会 優勝
- 国民体育大会東海大会 2位

<水泳部>

- 静岡県高校総合体育大会
 - ・女子総合優勝
 - ・女子400Mリレー 1位
 - ・200M自由形 1位 原 英晃（3年）
 - ・50M自由形 1位 小長井麻由（3年）
 - ・100M・200M自由形 1位 深尾 好美（2年）
 - ・100M・200M平泳ぎ 1位 岩崎 敬子（2年）
- 東海高校総合体育大会
 - ・女子総合2位
 - ・200M自由形 2位 原 英晃（3年）
 - ・100Mバタフライ 3位 太田 大成（3年）
 - ・100M自由形 1位 深尾 好美（2年）
 - ・100M・200M平泳ぎ 1位 岩崎 敬子（2年）
 - ・100M・200M背泳ぎ 3位 和田 理恵（1年）
- 全国高校総合体育大会
 - ・女子総合5位
 - ・200M平泳ぎ 2位 岩崎 敬子（2年）
 - ・200M自由形 6位 原 英晃（3年）
- 国民体育大会夏季大会（静岡県チーム）
 - ・400Mメドレーリレーメンバー少年女子A
1位 岩崎敬子・深尾好美（2年）
 - ・少年女子A200M平泳ぎ 1位 岩崎敬子（2年）

<柔道部>

- 静岡県高校総合体育大会
 - ・95kg以下級 1位 西條 邦彦（3年）
- 東海高校総合体育大会
 - ・95kg以下級 3位 西條 邦彦（3年）
- 国民体育大会県大会
 - ・71kg以下級 1位 寺山 育男（3年）
 - ・60kg以下級 1位 伊東 正治（2年）

<陸上部>

- 静岡県高校総合体育大会
 - ・100M 1位 西郷 潤哉（3年）
- 全国高校総合体育大会
 - ・400Mリレー 7位
- 国民体育大会県大会
 - ・100M 1位 西郷 潤哉（3年）

< バレー部 >

●国民体育大会（静岡県チームのメンバー）

・少年少女ライトアタッカー2位 原田佳奈（3年）

< スケート部 >

●静岡県高校総合体育大会

・総合優勝（23連勝）

・1000M・1500M 1位 鈴木 勇人（3年）

・500M・1000M 1位 小松 奈央（2年）

・500M 1位 鈴木健太郎（1年）

・10000M 1位 小松顕二郎（1年）

●国民体育大会県大会

・1000M・1500M 1位 鈴木 勇人（3年）

・10000M 1位 塩谷 宜史（3年）

・500M 1位 白井 剛史（2年）

・500M・1000M 1位 小松 奈央（2年）

●国民体育大会冬季大会

・1000M 3位 鈴木 勇人（3年）

< テニス部 >

●第15回全国選抜高校テニス大会

男子 県優勝 東海優勝 女子 県優勝 東海3位

●東海高校総合体育大会

・シングルス 2位 高橋 孝徳（2位）

・ダブルス 3位 宮本 智美（2位）

●第12回全国室内選抜ジュニア大会

・シングルス 県1位 東海1位

上野山博城（2年）

放送部に同窓会より奨励金がおくられる

今年も文部大臣賞を受賞した放送部に対し、同窓会は表彰規定にもとづき、奨励金（10万円）をおくることになりました。放送部が文部大臣賞を受賞するのはこれで7度目です。さらなる活躍を期待します。



文部大臣賞のメンバー

写真前列左より

柚木 昌久・佐藤 貴史・老沼 大輔

写真後列左より

芹沢 理沙・長谷川貴子・長田 秀樹

花木 愛・兼丸 幸枝・顧問 神田 勝先生

〔訃報〕

横山 栄蔵先生ご逝去



平成2年1月31日をもって定年退職をされました、横山栄蔵先生が、平成4年11月28日、ご逝去されました。

先生のながきにわたるご労苦と、我々同窓生がいただいた先生の深い愛情を思いつつ、心からのご冥福をお祈り申し上げます。

平成4年度事業報告

1. 総会 10月24日 田代パレス

(1)開会の辞 (2)会長挨拶 (3)母校校長挨拶 (4)議事
イ. 平成3年度事業報告 ロ. 平成3年度決算報告
ハ. 平成4年度事業報告 ニ. 平成4年度予算案

(5)閉会の辞

懇親会 (1)開会 (2)来賓挨拶 (3)乾杯 (4)懇親
(5)校歌斉唱 (6)閉会

2. 幹事会

(1)10月16日 田代パレス

総会の件

(2)2月5日 田代パレス

イ. 第33期生同窓会入会式の件 ロ. 表彰の件
ハ. 記念講演会の件 ニ. 会報の件

3. 事業

(1)2月20日 母校8号館

イ. 第33期生同窓会入会式

ロ. 表彰 放送部

ハ. 記念講演会

講師 作家 はら たいら

テーマ 「人生落書帳」

(2)3月1日 同窓会会報第22号発行

4. 支部

・熱海 6月21日（魚直）

・桜樹会（熱海市役所勤務の母校出身者）

3月21日・22日 スキー（平成4年）

・桜樹会総会 6月26日

5. その他

事務局会2回

同窓会入会式 平成5年2月20日



高田菊平会長挨拶



放送部表彰



新入会員代表挨拶
長田光広 君



記念講演
作家 はらたいら
「人生落書帳面」

総会風景

平成4年10月24日



各期ごとの
自己紹介

歌詞を見ながら校歌をうたう

幹事会

平成5年2月5日



高田菊平会長を囲んで